平成 25 年度　階層別研修

新規採用職員（前期）研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

公務員としての心構えや社会人としての基本的な知識や技能を修得し、職場へのスムーズな適応力を身につけます。

ココが
ポイント

公務員の使命（ミッション）とは何か。公務員として一番最初に考えるべき大切なことです。公務員としての基本を学びます。

■ 日時･会場

平成２５年４月８日（月）～１０日（水）　9:15 開講（8:30 から受付を行います。）
サントピア岡山総社　（総社市秦 1215 番地）

■ 対象･定員

新規採用職員　／　160 名

■ 募集締切日

３月２７日（水）【←年齢と性別も併せて入力してください。】

※4 月 1 日（月）まで受講システムは入力可能ですので、受講者の各所属が確定次第、入力してください

■ カリキュラム

■１日目　４月８日（月）		
9:15	開講・オリエンテーション	研修センター事務局
9:30	市長講話	総社市長　片岡　聡一　氏
10:30	グループづくり	研修センター事務局
11:00	社会人としてのメンタルヘルス基礎知識	岡山 EAP カウンセリングルーム　谷原　弘之　氏
13:00	地方財政入門	岡山大学経済学部教授　平野　正樹　氏
15:15	公務員と法	備前市総務部総務課　高橋　清隆　氏
18:30	グループワーク	研修センター事務局
■２日目　４月９日（火）		
8:45	地方自治制度・地方公務員制度	総社市市民課保険年金係　林　直方　氏
10:30	岡山の歴史と文化～文化財を中心に～	岡山県立博物館　館長　田村　啓介　氏
13:00	接遇・マナー	（有）イージス　小林　篤代　氏　他２名
18:30	レクリエーション	
■３日目　４月１０日（水）		
8:45	所長講話	研修センター所長
10:30	仕事の進め方	備前市教育委員会学校教育課　石原　史章　氏
13:00	目標設定	元研修センター所長　定金　章　氏
15:15	退所式	

新規採用保育士研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

保育士の使命(ミッション)と心構え、保育士や公営保育園を取り巻く環境変化を学び、業務遂行上必要な知識･技能の修得を図る。

ココが ポイント

公営保育園、保育士の使命（ミッション）とは何か。公務員として一番最初に考えるべき大切なことです。公務員としての基本を学びます。

■ 講師

『保育士の使命と心構え』　　松本　緑　氏（赤磐市立周匝保育園　園長）

『保育士を取り巻く行政環境』　　岡山県保健福祉部子ども未来課保育･母子班職員

『公営保育園の役割を考える』　　池田　隆英　氏（岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科　准教授）

■ 日時･会場

平成２５年４月１２日（金）９：３０～１６：３０
れじょんホール（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

新規採用された保育士　／　50 名

■ カリキュラム

9：30	●開講・オリエンテーション
9：45	『保育士の使命と心構え』
	【講師】松本　緑　氏（赤磐市立周匝保育園　園長）
11：00	『保育士を取り巻く行政環境』
	【講師】岡山県保健福祉部子ども未来課保育・母子班職員
12：00	～　昼休憩　～
13：15	『公営保育園の役割を考える』
	【講師】池田　隆英　氏（岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科　准教授）
16：15	●閉講挨拶
16：30	●閉講・アンケート記入

平成 25 年度　階層別研修

新規採用職員(後期)研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

採用後の職場経験を踏まえ、前期研修で学んだことをふりかえり、職務遂行能力の更なる向上を図ります。

ココが
ポイント

① 公務員として求められる倫理観、人権意識を学ぶ。
② 4 月に設定した目標への取り組み内容をふりかえる。
③ 8 ヵ月の職場経験を経て、クレームへの具体的な対応について考える。

■ 講師

江見　冨美男　氏（研修センターアドバイザー）
南　智　氏（元ノートルダム清心女子大学教授）
定金　章　氏（コ・パイロット　所長、浅口市金光町須恵地区長）
小林　篤代　氏（有限会社イージス　代表）

■ 日時･会場

【第 1 回】平成 25 年 11 月 14 日（木）～15 日（金）
【第 2 回】平成 25 年 11 月 21 日（木）～22 日（金）
※全日程　9:30～16:30　　れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

新規採用職員（前期）研修を修了した職員　／　各回 80 名（計 160 名）

■ カリキュラム

	【1日目】	【2日目】
9：30	開講・オリエンテーション	講師：小林　篤代（有限会社イージス代表）
9：45	「コンプライアンス」	○ビジネスマナーの基本の振り返り
	講師：江見　冨美男 氏（研修ｾﾝﾀｰｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ）	○住民満足とクレーム
		○クレーム対応の手順
11：45	～昼休憩～	・信頼関係の構築
12：45	「人権について」	・相手の話の傾聴
	講師：南　智　氏（元ﾉｰﾄﾙﾀﾞﾑ清心女子大学教授）	・効果的な質問
		・理解してもらう説明
14：30	「8 か月のふりかえりと今後の行動目標」	・お詫びと感謝の言葉
	講師：定金　章 氏	・フォローの心構え
	（浅口市金光町須恵地区長、ｺ･ﾊﾟｲﾛｯﾄ所長）	○ロールプレイ
		○まとめ・
16：30		●閉講・アンケート記入

【携行品】
・目標シート
・別紙　事前課題

平成 25 年度　階層別研修

一般職員初級(３年目)研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

グループワークを通じてコミュニケーションのとり方や各々の役割について学びます。また、今後のこころの在り方を含めたセルフケアについて理解を深めます。変革期を迎える地方自治体の役割を考え、公務員の使命（ミッション）を再確認します。

ココが
ポイント

①現在の地方自治体に求められている役割を理解する。
②職場でのコミュニケーションについて考える。
③メンタル面のセルフケアやこころの在り方について学ぶ。
④公務員のミッションについて再確認する。

■ 講師

『変革の時代における地方自治体の役割』	多田　憲一郎　氏（岡山商科大学経済学部長・教授）
『職場のコミュニケーション』	中野　範子　氏（財団法人岡山経済研究所　主任研究員）
『メンタルヘルス・セルフケア』	谷原　弘之　氏（岡山 EAP カウンセリングルーム）
『公務員のミッションと問題解決』	定金　章　氏（元研修センター所長）

■ 日時･会場

【第１回】平成２５年８月　５日（月）～　６日（火）
【第２回】平成２５年９月　９日（月）～１０日（火）
【第３回】平成２５年９月１２日（木）～１３日（金）

※全日程とも 9：30～16：30

れじょんホール
（岡山市北区今 2-2-1
岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

入職３年目の職員　／　各回 40 名

■ カリキュラム

	【1日目】	【2日目】
9：30	●開講・オリエンテーション **『変革の時代における地方自治体の役割』** 【講師】多田　憲一郎　氏 （岡山商科大学経済学部長・教授）	**『メンタルヘルス・セルフケア』** 【講師】谷原　弘之　氏 （岡山 EAP カウンセリングルーム マネージャー）
12：00		
13：00	**『職場のコミュニケーション』** 【講師】中野　範子　氏 （財団法人岡山経済研究所　主任研究員）	**『公務員のミッションと問題解決』** 【講師】定金　章　氏 （元研修センター所長）
16：30		●閉講・アンケート記入

公益財団法人岡山県市町村振興協会　研修センター

平成 25 年度　階層別研修

一般職員中級(７年目)研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

中堅職員として期待され求められている役割を認識するとともに、職場内外の問題・課題を発見し、柔軟な発想で解決策を提案できる能力を養います。

ココが
ポイント

①中堅職員としての役割が明確になる。
②職場内・外の問題や課題を発見し、解決策が提案できる。
③後輩を指導・育成することができる。

■ 講師

杠　隆史　氏　　（有限会社エヌ・アール・シー　代表取締役）

■ 日時・会場

【第１回】平成２５年１０月２３日（水）～２４日（木）
【第２回】平成２５年１０月２８日（月）～２９日（火）
【第３回】平成２５年１０月３０日（水）～３１日（木）
※全日程とも　９：３０～１６：３０

れじょんホール
（岡山市北区今 2-2-1
岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象・定員

入職７年目の職員　／　各回 40 名

■ カリキュラム

	【1日目】	【2日目】
9：30	●開講・オリエンテーション 1．問題解決に役立つ創造性開発と使いやすいアイデア発想法 2．岡山県市町村と職員を取り巻く環境 3．まわりの期待に応える３つの能力 4．中級職員に期待し求められる役割 5．仕事の基本の確認 6．効果的な仕事の進め方 7．後輩育成の実際 8．よいコミュニケーションのポイント 9．問題解決の基本 （１）問題と課題 （２）問題解決に役立つ品質管理のものの見方・考え方 （３）問題発見の着眼点 （４）問題解決に有効な問題解決の手順 （５）問題解決のためのＱＣ手法	10．問題解決の実際　～基本編～ （１）問題の提示 （２）現状把握と目標の設定 （３）原因追求(要因解析)と重要要因の検証 （４）対策の立案と評価 （５）効果の確認 （６）反省と今後の課題 11．問題解決の実際　～実践編～ （１）問題解決シートの作成 （２）相互検討 12．まとめ （１）職場活性化のために （２）仕事の喜びを考える （３）自己啓発のすすめ
16：30		●閉講・アンケート記入

一般職員上級(10年目)研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

フォロワーシップ（部下力）を発揮し、上司を補佐しながら、後輩の指導や育成ができるチームリーダーとしての役割を認識し、これから求められる政策形成の基本を修得します。

ココがポイント

①チームリーダーとして、何をすべきが明確になる。
②フォロワーシップ（部下力）を発揮し、上司を補佐することができる。
③後輩を指導・育成することができる。
④課題発見・解決することによって、政策形成の基本が理解できる。

■ 講師

田中　浩　氏　　（株式会社ヒロ・マネジメント　代表取締役）

■ 日時･会場

【第 1 回】平成 25 年 9 月 17 日（火）～18 日（水）	【第 2 回】平成 25 年 9 月 19 日（木）～20 日（金）
【第 3 回】平成 25 年 9 月 24 日（火）～25 日（水）	【第 4 回】平成 25 年 9 月 26 日（木）～27 日（金）

※全日程　9:30～16:30　　れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

入職１０年目の職員　／　各回 40 名

■ カリキュラム

	【1日目】	【2日目】
9：30	●開講・オリエンテーション ☆オリエンテーション（研修のねらい、講師紹介） １．行動しながら深く考え続ける ２．チームリーダーの役割・心構え （１）“守り”から“攻め”への転換 （２）自分のビジョンを考える （３）ビジョン実現により、自分のモチベーションを高める ３．チームリーダーとして期待されること （１）周囲からの期待を考える （２）「フォロワーシップ（部下力）」の発揮 （３）「後輩指導・育成力」の基本 （４）よくわかる職場の「問題解決力」 （５）地域の課題解決である「政策形成力」の基本 ４．政策形成テーマと対象地域の設定	☆前日の振り返り ５．地域の環境を分析する ＜現状分析と将来予測＞ ～3 年後の変化を予測する ６．政策立案の実習 （１）グループ討議～ＢＳ法による政策立案 ～テーマに沿って政策を考える～ （２）実際に作成した政策案を発表してもらう （３）各グループの内容を評価 ７．総まとめ講義
16：30		●閉講・アンケート記入

【携行品】
・総合計画
・事前課題シート

新任係長研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

係長として求められる役割を認識し、監督職としてのリーダーシップを学びます。

ココが
ポイント

係長に求められる役割やリーダーシップなど、グループワークを通して体得します。

■ 講師

鬼澤　慎人　氏　　（株式会社ヤマオコーポレーション　代表取締役）

■ 日時･会場

【第１回】平成２５年５月１５日（水）～　１６日（木）

【第２回】平成２５年７月　９日（火）～　１０日（水）

【第３回】平成２５年７月３１日（水）～８月１日（木）

【第４回】平成２５年８月　７日（水）～　８日（木）

※全日程とも　９：３０～１６：３０

れじょんホール
（岡山市北区今 2-2-1
岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

係長級に昇任した職員　／　各回 40 名

■ カリキュラム

２日間を通して、
『係長の役割とリーダーシップ』について学びます。
（講義＋グループワーク）

平成 25 年度　階層別研修

新任課長補佐研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

課長を補佐する管理職としての役割と責務を明確にし、政策執行能力の向上や人材育成、職場活性化について学びます。

ココが
ポイント

①職場内外の折衝、調整、住民との協働などの政策執行能力を養成します。
②課長補佐職の役割を自覚し、モチベーションを高めます。
③職員の政策能力を育成する「政策型職場研修」の考え方と手法を学びます。

■ 講師

浦野　秀一　氏　　（有限会社あしコミュニティ研究所　代表取締役）

■ 日時･会場

【第 1 回】平成２５年７月２３日（火）～２４日（水）
【第 2 回】平成２５年７月２５日（木）～２６日（金）
【第 3 回】平成２５年８月２２日（木）～２３日（金）

※全日程とも 9：30～16：30

れじょんホール
（岡山市北区今 2-2-1
岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

課長補佐級に昇任した職員　／　各回 40 名

■ カリキュラム

	【1日目】	【2日目】
9：30	●開講・オリエンテーション	6.　政策形成の実習 ～広聴と政策形成 「これからのまちづくりはどうあるべきか」
	1.　管理職の役割と責任	7.　グループ発表と政策ディベート
	2.　今、なぜ政策能力が求められるのか	8.　地方自治新時代における行政経営 ～これからの地方自治
	3.　人口推計から地域課題を読み取る	9.　地方自治新時代に求められる 自治体職員の能力
	4.　グループ発表と政策ディベート	10. 人材育成と職場活性化
	5.　政策形成の実習 ～これからのまちづくりは どうあるべきか～ ①ブレーンストーミング	
16：30	②カードづくり	●閉講・アンケート記入

【携行品】
・総合計画（概略版は不可）・事前課題シート・電卓・赤、黒のボールペン

新任課長研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

課長としての責務や役割を明確にし、管理職に求められるリーダーシップを学びます。

ココが
ポイント

課長に求められる責務や役割、リーダーシップなど、グループワークを通して体得します。

■ 講師

鬼澤　慎人　氏　　（株式会社ヤマオコーポレーション　代表取締役）

■ 日時･会場

【第１回】平成２５年５月１７日（金）　９：３０～１６：３０

【第２回】平成２５年７月　８日（月）　９：３０～１６：３０

【第３回】平成２５年８月２０日（火）　９：３０～１６：３０

れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

課長級に昇任した職員　／　各回 40 名

■ カリキュラム

１日を通して、
『課長の役割とリーダーシップ』について学びます。
（講義＋グループワーク）

幹部職員研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

自治体経営に携わる幹部職員としてのあるべき姿を認識し、人材の育成やマネジメントのコツを考えます。

ココが
ポイント

・新時代（地方分権時代）のマネジメントの違いがわかる。
・行動をスピードアップさせる腑に落ちる指示の仕方を学ぶ。
・マネジメントの関わり方で職員の生産性を上げることができる。

■ 講師

武久　顕也　氏　　（瀬戸内市　市長）

小林　こずえ　氏　（株式会社カイマネージ）

■ 日時･会場

平成２５年７月１９日（金）　１３：００～１６：１０

れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

課長職３年以上の職員、または部長級および幹部職に昇任した職員　／　30 名

■ カリキュラム

13：00	●開講・オリエンテーション
13：05	●講話「幹部職の役割と期待」 講師：瀬戸内市　市長　武久　顕也　氏
14：00	～休憩～
14：10	●「新時代の人材マネジメント」 講師：株式会社カイマネージ　代表取締役　小林　こずえ　氏
16：10	●閉講

政策形成研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

地域が抱えている問題を解決し、暮らしやすいまちにするための方策を考える政策形成能力は、自治体職員にとって不可欠なものです。政策の仕組みなど基本的な理論や手法を学び、まちづくりの基礎を修得します。

ココが
ポイント！

①政策形成の重要性や意義について理解する。
②考え方や手法を演習で体験し、実践へとつながる。

■ 講師

山田　治徳　氏　　（早稲田大学政治経済学術院公共経営大学院　教授 ）

■ 日時･会場

平成２５年９月　３日（火）～　４日（水）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

中堅～監督職　／　30 名

■ カリキュラム

9：30　●開講・オリエンテーション

1．なぜ政策形成能力の向上が必要なのか
2．政策の仕組みと構造
3．政策形成のポイント（政策形成過程に沿いながら）
　・問題の確認から課題設定
　・現状分析（住民ニーズの調査）
　・原因分析（演習を含む）
　・素案の作成
　・政策形成における留意点
4．戦略経営ー戦略に基づく政策形成とは

16：30　●閉講・アンケート記入

※2日間で学ぶカリキュラムです。

自治体政策法務(超入門)研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

自治体職員にとって、法と行政のかかわりや自治制度などの基本的な知識は持っておくべきであることは、誰でも感じるところですね。しかし、自治体職員となって、まだ、数年以内という方や普段の業務で行政法規や地方自治法等になじみのないと思われている方は、少し不安に感じていらっしゃるのではないでしょうか。そんな皆さん、大歓迎です。あまり難しい法解釈や理論を用いることはしないで、「政策法務」の視点に立って、まずは目指す入口までご案内できればと思っています。

ココが
ポイント！

私もまだ勉強中の身分にかわりありませんが、同じ自治体職員という立場で、自治・分権やこれに関する法制度のあらましなどについて、いっしょに考え、理解を深めていきたいと思います。

■ 講師

三宅　康彦　氏　　（倉敷市　選挙管理委員会事務局　次長）

■ 日時･会場

平成２５年　１０月　８日（火）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

特に条件はありませんが、採用後１０年以内の一般職員を主な対象とします。　／　30 名

■ カリキュラム

9：30　●開講・オリエンテーション

1　法と行政の関係について
あらためて、行政とは・・・なんて考えることは少ないですよね。ちょっと歴史的なことも含めて、考えてみましょう。また、「法に基づいて行政をおこなう」とはどういうことか考えてみましょう。

2　憲法と自治体職員について
憲法と自治体職員のかかわりは、実は深いんですね。
「日本国憲法」の読み方が変わります！！

3　分権改革と自治制度、早わかり
平成の時代になって、進められている分権改革、地方自治制度のあらましはどうなのか、一緒に学びましょう。

4　窓口の対応での行政法の知識
行政手続法をテーマにクイズ形式でわかりやすく学びましょう。

16：30　●閉講・アンケート記入

【携行品】
特にありません。

平成 25 年度　職能別研修

自治体政策法務研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

政策立案能力を高めるためには、様々な法の知識と使える能力が必要です。条例と法律の関係性など、具体的な事例を交えながら基礎知識を修得します。

ココが
ポイント！

政策立案に必要な**条例と憲法、法律との関係**について学ぶとともに、政策目的達成手段としての**行政手法**について、事例を交えながら理解を深めていきます。

■ 講師

宇那木　正寛　氏　　（岡山大学大学院社会文化科学研究科非常勤講師、元岡山市職員）

■ 日時･会場

平成２５年７月１７日（水）～１８日（木）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

中堅職員～監督職員　／　30 名

■ カリキュラム

【1日目】

9：30　●開講・オリエンテーション

第１部　政策法務の位置づけ
政策法務の意義について学びましょう。

第２部　憲法の基礎
憲法の基礎理論について学びましょう。

第３部　憲法と条例
憲法と条例との関係について学びましょう。

第４部　条例の基礎
条例制定権の範囲、対象といった条例の基礎理論について学びましょう。

16：30

【2日目】

第５部　法律と条例
条例と法律との関係について学びましょう。

第６部　都道府県条例と市町村条例
都道府県条例と市町村条例の関係について学びましょう。

第７部　行政手法
行政手法の種類と具体的内容について学びましょう。

第８部　行政上の義務履行の確保
行政代執行制度を中心に行政上の義務履行確保の制度について学びましょう。

●閉講・アンケート記入

※ 講義内容は、進行度合いによって変更する場合があります。

【携行品】
自治六法

公益財団法人岡山県市町村振興協会　研修センター

平成 25 年度　職能別研修

リーガルコミュニケーション研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

自治体政策法務で学んだ知識をアウトプットする能力（＝リーガルコミュニケーション能力）の向上を目指します。政策立案に必要な法的理論を理解し、事例研究でさらに深めていきます。

ココが
ポイント！

①憲法と条例との法的関係について、理解を深める。
②法令と条例との法的関係について、理解を深める。
③都道府県条例と市町村条例との法的関係について、理解を深める。

■ 講師

宇那木　正寛　氏　　（岡山大学大学院社会文化科学研究科非常勤講師、元岡山市職員）

■ 日時･会場

平成２５年１１月８日（金）　9：30～16：30
小会議室　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　2F）

■ 対象･定員

参加意欲のある職員　／　15 名　　※定員を超過したときは調整させていただきます。

■ カリキュラム

9：30　●開講・オリエンテーション

【携行品】
地方自治法が掲載された六法

【講義】
1　憲法と市町村条例
2　法令と市町村条例
3　都道府県条例と市町村条例

【事例研究】
自治体の政策は、憲法及び法令に適合していること、市町村条例にあっては、都道府県条例に反していないことが必要です。こうした適合性を判断するために必要な能力を養うことが、「政策法務」における大きな課題となっています。
事例研究では、講師が提示する具体的実例を通して、こうした能力を高めることが目標となります。

16：30　●閉講・アンケート記入

※ 講義内容は、進行度合いによって変更する場合があります。

公益財団法人岡山県市町村振興協会　研修センター

平成 25 年度　職能別研修

法制執務(基礎)研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

地方分権が進展するなか、自治体職員には法務能力が必須のスキルとなっています。条文の構造や法令用語などの法制執務の基礎知識を学び、条例･規則の一部改正ができるようになることを目指します。

ココが
ポイント

①条文の構造と各部分の名称・意義を理解し、条例作成に役立てます。
②一部改正の基本を修得し、一部改正を行うことができるようになります。

■ 講師

峯村　欣弘　氏　　（第一法規株式会社）

■ 日時･会場

【サテライト会場】　平成２５年６月　３日（月）～　４日（火）　9：30～16：30
津山市役所本庁舎　２階大会議室　（津山市山北 520　　TEL：0868-32-2044）

【岡山会場】　平成２５年７月１１日（木）～ １２日（金）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

当該業務に従事している職員　／　各 30 名

■ カリキュラム

【1日目】

9：30
●開講・オリエンテーション

第１　法制執務について
1.　総説
2.　立法政策
3.　立法技術

第２　法の仕組み
1.　法体系
2.　法形式

第３　条例・規則概論
1.　自治立法
（1）自治立法権
（2）自治立法の法形式
2.　条例・規則について

16：30

【2日目】

第４　条例・規則の立案方式
1.　総説
（1）方式の根拠
（2）方式の種類
2.　新制定の方式
3.　立案要領
4.　一部改正の方式
5.　全部改正及び廃止の方式

第５　演　習
グループワーク（条例の一部改正）

●閉講・アンケート

【携行品】
自治六法

プレゼンテーション研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

住民説明会や市民講座、職場内研修など、人前で話す機会が多くなっています。このような業務に即した場面を想定し、説明者として求められるプレゼンテーション能力（話す・見せる）の向上を図るために、実践的な演習を中心として、話し方、資料（パワーポイント）の作り方を学びます。

ココが
ポイント

①アナウンサーのノウハウを活用した実践的なトレーニング
②ビデオを使った効果的な実技指導
③経験豊富なベテランアナウンサーによる指導

■ 講師

加藤　昌男　氏　　財団法人ＮＨＫ放送研修センター　日本語センター　専門委員・
エグゼクティブ・アナウンサー）

■ 日時･会場

【第１回】平成２５年　６月２７日（木）～　２８日（金）　9：30～16：30

【第２回】平成２５年１１月２６日（火）～　２７日（水）　9：30～16：30

れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

中堅～監督職　／　各回 20 名　※定員を超えた場合は、調整させていただくことがあります。

■ カリキュラム

	【1日目】	【2日目】
9：30	●開講・オリエンテーション ◇オリエンテーション プレゼンテーションの基本 ◆実習Ⅰ 「説明力」をみがく ◇レクチャー 効果的なプレゼンテーション ◆実習Ⅱ 「模擬プレゼンテーション」① （ビデオ収録）	◇ビデオ視聴・検討 （前日のビデオを視聴） ◇修正・改良版作成、発表練習 ◆実習Ⅲ 「模擬プレゼンテーション」② （ビデオ収録～視聴） ◇まとめ （効果的なプレゼンテーション、話し方、 実際の業務への活用） ●閉講・アンケート記入
16：30		

平成 25 年度　職能別研修

メンタルヘルス研修～ズバッと整理する(上司編)～カリキュラム

■ 研修のねらい

職場は働くための場所という基本に立ち返り、業務遂行に焦点をあてたメンタルヘルス対応について考えます。

ココが
ポイント！

① 従来とは異なり、“業務的”健康管理と“医療的”健康管理とに分けて、メンタルヘルス対応を考える。
② メンタル不調者に対して、具体的で実践的な対応策を学ぶ。

■ 講師

高尾　総司　氏　　（岡山大学大学院　医歯薬学総合研究科　医師・労働衛生コンサルタント）

■ 日時･会場

平成２５年５月　２３日（木）　13：30～15：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

管理・監督職　／　30 名

■ カリキュラム

13：30	●開講・オリエンテーション
	・メンタルヘルス対応はなぜ難しいと言われるのか
	・メンタルヘルス対応における上司の役割と「できること」
	・大原則・三原則にもとづくメンタル対応とは
	・不完全労務提供の受領とこれに伴う問題
	・職場でよくあるメンタル Q&A
15：30	●閉講・アンケート記入

※注意点

当該研修へのご参加につきましては、各自治体におけるメンタルヘルス対策との整合性を判断いただいた上でご検討ください。通常、一般的に行われるメンタルヘルス研修の内容とは若干異なる部分がありますので、予めご了承ください。

クレーム対応研修(一般職員向け) カリキュラム

■ 研修のねらい

住民サービスの向上を目的として、クレームが発生する背景・考え方を学び、対応する際の心構えや対応技術を修得します。

ココが ポイント！

①クレーム対応の事例を共有し、問題点等について話し合う。
②ロールプレイングにより、 問題点・改善点をつかむ。
③困難なクレームに対する対処法を学ぶ。

■ 講師

鈴鹿　絹代　氏　　（株式会社アイベック・ビジネス教育研究所　常任講師）

■ 日時･会場

平成２５年　５月２８日（火）～　２９日（水）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

一般職員　／　30 名

■ カリキュラム

	【1 日目】	【2 日目】
9：30	●開講・オリエンテーション	5.　クレーム対応の基本フロー
	1.　クレーム対応の基礎知識	**《実習Ⅲ》**グループディスカッション
	《実習Ⅰ》グループディスカッション	**《実習Ⅳ》**ロールプレイング 2
	2.　クレーム対応の心構え	6.　困難なクレームへの対処法
	《実習Ⅱ》　ロールプレイング 1	7.　クレームに強い組織づくり
	3.　ヒアリングの技法	8.　住民対応能力をさらに高めるために
	4.　納得を引き出す技法	●質疑応答
	●質疑応答	
16：30		●閉講・アンケート記入

クレーム対応研修（管理監督者向け） カリキュラム

■ 研修のねらい

クレームの 2 次対応者としての心構えやハードクレームとなった場合の対応について学びます。また、組織的な危機管理体制の重要性について理解を深めます。

ココが ポイント！

①クレーム対応の事例・体験をグループで共有する。
②ハードクレーム対応の事例研究を通じて理解を深める。
③今後の対応についての課題と改善点を整理する。

■ 講師

鈴鹿　絹代　氏　　（株式会社アイベック・ビジネス教育研究所　常任講師）

■ 日時･会場

平成２５年　７月２９日（月）～　３０日（火）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

管理・監督職　／　30 名

■ カリキュラム

	【1 日目】	【2 日目】
9：30	●開講・オリエンテーション	**《実習Ⅲ》**の続き
	1.　クレーム対応の基礎知識 **《実習Ⅰ》**グループディスカッション	**《実習Ⅳ》**ロールプレイング テーマ「ハードクレームへの対応技法」
	2.　クレーム対応の基礎技法	5.　危機管理体制を強化する **《実習Ⅴ》**個人ワーク、全体発表
	3.　ハードクレーム対応の注意点 **《実習Ⅱ》**グループディスカッション	6.　対応能力をさらに高めるために
	4.　ハードクレームへの対応技法 **《実習Ⅲ》**グループディスカッション	●質疑応答
16：30	●質疑応答	●閉講・アンケート記入

ファシリテーション研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

住民との話し合いや組織内の会議などで、参加者の積極的な意見を引き出し、中立的な立場で円滑に話し合いを進めることができるファシリテーションの技術を学びます。

ココが
ポイント

①会議の進行が上手くなります。
②メンバーからの意見がどんどん引き出せるようになります。
③創造的なアイデアが、協議を通して得られるようになります。

■ 講師

有吉　聖治　　氏　　（人材開発マネジメント株式会社　専任講師）

■ 日時･会場

平成２５年１０月２２日（火）　9：30～16：30

平成２５年１１月１９日（火）　9：30～16：30

れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

中堅～監督職（２日間とも受講できる方）　／　３０名

※定員を超えた場合は、調整させていただくことがあります。

■ カリキュラム

	【10月22日(火)】	【11月19日(火)】
9：30	●開講・オリエンテーション	**◇前回の振り返り**
	◇オリエンテーション	**◇課題の確認**
	◇ファシリテーションとは	＊各自の体験を共有する
	＊基本的な考え方	＊今日の目標を決める
	＊ファシリテーションの構造	**◇ファシリテーショングラフィック**
	◇場の空気を読む	＊図解スキル
	＊コンテントとプロセスの理解	＊会話を書き留める
	＊お互いの感情に気づくには	＊相互評価
	＊ショートファシリテーションの実践	**◇合意を形成する**
	◇ファシリテーションの基礎・傾聴行動	＊対立はなぜ起こるのか
	＊傾聴トレーニング	＊対立解消図の考え方
	◇対話を深化させる	**◇総合的ファシリテーション実践**
	＊ワールドカフェを楽しもう	＊対立ケースを考える
	＊多様な意見に耳を傾ける	＊テーマに基づいて議論する
	＊主張をすり合わせる	＊相互に検証する
	＊集団の意見をまとめる	**◇まとめ、質疑応答**
16：30	**◇まとめ、質疑応答、次回までの課題**	●閉講・アンケート記入

平成 25 年度　職能別研修

市町村税徴収事務研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

滞納整理の流れを理解し、税の基本知識や徴収職員としての心構え、折衝・交渉術、差押えの手続きなどの徴収担当者に必要な基本スキルを修得します。

ココが
ポイント！

①滞納整理の流れや税の体系等の基本を学ぶ
②演習問題により、具体的な手続き等が修得できる
③ＤＶＤを使った視聴覚学習で、事例の確認ができる

■ 講師

青柳　進　氏　　（公益財団法人　東京税務協会　専門講師 ）

■ 日時･会場

平成２５年６月　４日（火）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

当該業務に従事している職員　／　60 名

■ カリキュラム

9：30　●開講・オリエンテーション
1.　滞納整理の流れ概要
2.　納税の告知、期間制限
3.　徴収職員の心構え
4.　書類の送達
5.　徴収権の消滅時効
6.　滞納整理のために必要な財産調査
　6-2　滞納整理における資料請求・質問・調査における内容等概要一覧
　6-3　財産調査先と調査内容　所在調査、生活調査を含む　例
　6-4　捜索ＤＶＤ
7.　居住確認調査
8.　納税交渉・折衝の進め方
9.　差押えの流れ
　9-2　差押えの手続き
『演習問題　相続と交渉』

16：30　●閉講・アンケート記入

【携行品】地方税法
（法律編が掲載されているもの）

平成 25 年度　職能別研修

税外徴収事務研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

公営住宅家賃や水道料金、給食費など公債権以外の債権について基礎を学び、滞納処分や強制徴収の方法など、徴収担当者に必要なスキルを修得します。

対象となる債権

- 公営住宅の家賃
- 水道料金
- 各種貸付金
- 土地等売買代金
- 給食費、授業料

■ 講師

江原　勲　氏　　（自治体法務研究所　代表 ）

■ 日時･会場

平成２５年６月　６日（木）　9：30～16：30

れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

当該業務に従事している職員　／　60 名

■ カリキュラム

9：30	●開講・オリエンテーション
	1.　地方公共団体の債権
	2.　債権の種類
	3.　債権の管理
	4.　滞納処理手続き
	5.　地方公共団体の債権と時効・徴収停止等
	6.　地方税法による滞納処分
	7.　滞納家賃・貸付金・水道料等の強制徴収の方法
	8.　滞納家賃・貸付金等に対する対策
	9.　民事執行
16：30	●閉講・アンケート記入

住民税課税事務研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

住民税課税事務に係る事務遂行に必要な基礎知識を修得します。

ココが
ポイント

①市町村民税課税事務の流れを理解し、業務を的確に遂行できる。
②住民からの問い合わせに、根拠法令に基づきわかりやすく説明できる。

■ 講師

大久保　英夫　氏　　（公益財団法人東京税務協会　講師）

■ 日時･会場

平成２５年　７月　４日（木）～　５日（金）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

住民税課税事務従事者　／　60 名

■ カリキュラム

	【1日目】	【2日目】
9：30	●開講・オリエンテーション **【地方税法総則】** 更正決定の期間制限（個人・法人）、 消滅時効、税額等の端数計算、 書類の送達、更正の請求、納税義務の 承継、守秘義務（ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰ保護） **【個人住民税】** 納税義務者、均等割（税率と軽減措置） 所得割（総合課税と分離課税） 総合課税：所得計算 所得控除（生命保険料、扶養控除等） 税額控除（住宅借入金等特別税額控除等）	**【個人住民税】** 分離課税：土地・建物等の譲渡所得、 株式等譲渡所得､退職所得の課 税の特例 賦課・徴収：申告の義務、普通徴収と 特別徴収 **【法人住民税】** 納税義務者、均等割の税率（資本金等の 額、従業者数） 税　割：課税標準額の計算、税率、税額 控除 申告納付：中間・確定申告等 （分割法人の分割基準含む） ●閉講・アンケート記入
16：30		

【携行品】地方税法（法律編が掲載されているもの）・電卓

平成 25 年度　職能別研修

固定資産税課税事務研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

固定資産税（土地、家屋、償却資産）に係る事務遂行に必要な基礎知識を修得します。

ココが
ポイント

①固定資産税の基本がしっかりと学べる。

②事例演習により、具体的な考え方が理解できる。

■ 講師

野木　義昭　氏　　（自治体法務研究所　副代表）

■ 日時･会場

平成２５年　７月　２日（火）～　３日（水）　9：30～16：30

れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

固定資産税課税事務従事者　／　60 名

■ カリキュラム

	【1 日目】	【2 日目】
9：30	●開講・オリエンテーション	8.　課税標準
	1.　固定資産税とは	9.　住宅用地に対する課税標準の特例
	2.　課税客体となる固定資産	10.　新築住宅の減額
	3.　納税義務者	11.　評価及び価格の決定
	4.　納税義務者の死亡と納税義務の承継	12.　賦課及び徴収
	5.　共有物件と連帯納税義務	13.　価格に対する不服申立て
	6.　非課税	14.　賦課処分に対する不服申立て
16：30	7.　減免	●閉講・アンケート記入

【携行品】地方税法が掲載された法令集（自治六法等）

公益財団法人岡山県市町村振興協会　研修センター

平成 25 年度　職能別研修

問題解決スキル研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

問題解決に必要となる柔軟な発想法や問題を発見する着眼点など基本的なステップを学び、管理監督者として求められる役割について理解を深めます。

ココが
ポイント！

①色々なことに活用できるアイデア発想法を修得する。
②管理監督職の立場と役割を再確認する。
③問題解決の技法を学び、職場内で共有、活用する。

■ 講師

杠　隆史　氏　　（有限会社エヌ・アール・シー　代表取締役）

■ 日時･会場

平成２５年１０月２５日（金）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

管理・監督職　／　30 名

■ カリキュラム

9：30	●開講・オリエンテーション
	1．あらゆる業務に活用できるアイデア発想法
	2．自治体と職員を取り巻く環境
	3．管理監督職の立場と役割
	4．マネジメントの基本と戦略的マネジメント
	5．管理のサイクルによる仕事の進め方
	6．まわりの期待に応える３つの能力
	7．問題解決の基本
	8．問題解決に有効な品質管理のものの見方・考え方
	9．問題発見の着眼点
	10．問題解決の手順
	11．問題解決の事例研究
	12．問題解決演習
	13．まとめ
16：30	●閉講・アンケート記入

平成 25 年度　職能別研修

地方公務員のための民事法研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

契約の基礎を中心に、財産法、物権法などの基本構造を体系的に理解できるよう、演習問題を交えながら学びます。具体的な事例を民法の各関連箇所で取り上げ、応用的理解を目指します。

ココが ポイント

①契約の基礎について現役の弁護士が分かり易く説明します。
②民事法を体系的に理解し、公務員に必要な法の知識を身につけます。
③例題・演習をグループで議論しながら民事法の理解を深めます。

■ 講師

鷹取　司　　氏　　（鷹取法律事務所　弁護士）

■ 日時･会場

平成２５年８月２９日（木）～ ３０日（金）　9：30～16：30

れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

全職員　／　６０名

■ カリキュラム

【1日目】

9：30 ●開講・オリエンテーション

1　はじめに（民法の考え方）
- (1)　法的効果の付与
- (2)　何に付与されたか

2　契約の基礎
- (1)　契約とは
- (2)　契約の拘束力
- (3)　契約の解消

3　財産法の基本構造
- (1)　債権と物権
- (2)　時効

4　不動産と動産の法律問題（物権法）
- (1)　不動産と動産
- (2)　不動産と登記
- (3)　動産と即時取得

16：30

【2日目】

5　主な契約（債権法）
- (1)　売買
- (2)　賃貸借

6　契約の効力に関し生ずる問題
- (1)　意思表示の無効・取消
- (2)　代理，代表

7　損害賠償
- (1)　損害賠償請求権の一般的要件
- (2)　使用者責任
- (3)　工作物責任

●閉講・アンケート記入

【携行品】六法（民事訴訟法、破産法、民事再生法等が載っているもの）

公益財団法人岡山県市町村振興協会　研修センター

平成 25 年度　職能別研修

文章力向上研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

日常的に作成することが多い文書ですが、その文書を読む相手に伝わるように表現されているか、意識しているでしょうか。間違いやすい敬語の使い方やわかりやすい文書の作成手順など、演習を通じて修得します。

ココが
ポイント

①相手に伝わる文書作成方法を修得する。
②効率と好感度が上がるメールのマナーを修得する。
③正しい敬語や文章表現を再確認する。

■ 講師

【メイン講師】　小田　順子　氏　　（株式会社ことのは本舗　代表取締役）

【サブ講師】　　小 野　　聡　氏　　（役所屋本舗　代表）

■ 日時･会場

【第１回】　平成２６年１月２１日（火）～ ２２日（水）　9：30～16：30

【第２回】　平成２６年１月２３日（木）～ ２４日（金）　9：30～16：30

れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

ある程度の文書作成経験のある職員（一般職）　／　各６０名

■ カリキュラム

	【1日目】	【2日目】
9：30	●開講・オリエンテーション	**第４章 クレームを招く、仕事を増やす「ＮＧ表現」**
	第１章. わかりやすい文章作成術	・こんな言葉、無意識に使っていませんか？「文章表現の危険度チェック！」
	1. 見やすい文書の作り方	**第５章 仕事の効率＆好感度ＵＰのメール術**
	2. 読みやすい文の書き方	1. 知らないと怖い！メールマナー
	3. 正しい敬語の使い方	2. 悩まず書ける！文書作成法
	4. わかりやすい文章の書き方	3. 仕事を減らす！効率化の裏技
	5. 表記のルール	**第６章 グループワーク**
	6. ３ステップ校正法	1. 課題文の書き換えワークとグループ討議
	第２章 住民に伝わる！お知らせ文書作成術	2. 発表
	1. 生命にかかわる情報の伝え方	
	2. 社会生活に必要な情報の伝え方	
	3. 行政の施策情報の伝え方	
	第３章 人が集まる！イベント・講座情報の伝え方	
	1. 講座・イベントのお誘い	
	2. 名所・特産品のアピール	
	3. ブログによるコミュニケーション	
16：30	4. Twitter、Facebook などを利用した伝え方	●閉講・アンケート記入

平成 25 年度　職能別研修

セルフマネジメント研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

自分自身の感情や脳の仕組みを把握し、常に仕事の目的を見失わない行動を続けるために、自分自身をコントロールするためのトレーニング法を学びます。

ココが
ポイント！

①感情のコントロール法を学ぶことができる。
②周囲との適切な人間関係を構築できる。
③自分のモチベーション（状態）を適正にコントロールすることができる。

■ 講師

小林　こずえ　氏　　（株式会社　カイマネージ　代表取締役）

■ 日時･会場

【第１回】平成２５年　６月１１日（火）　9：30～16：30

【第２回】平成２５年１０月１８日（金）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

採用後おおむね７年目から係長昇任前の一般職員　／　各回 30 名

■ カリキュラム

9：30	●開講・オリエンテーション ◆オリエンテーション セルフマネジメントとは？ ◆こころの準備体操　　※自分の感情に気づく ◆思考のクセ　　※自分の思考に気づく ◆脳の取扱説明書 ◆セルフマネジメント力を強化する ※セルフマネジメントに必要な視点 ①自責、②目的、③行動 ◆行動計画 ◆まとめ ◆質疑応答
16：30	●閉講・アンケート記入

コーチング研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

今いる職場のメンバーで業務効率を上げていくには、一人ひとりのやる気を高め、組織力を上げることが重要になってきます。それぞれ違う個性を持った部下のやる気を引き出し、成長を促すコーチングスキルを学び、組織目標の達成を目指します。

ココが
ポイント！

①部下とのコミュニケーションを効果的にし、指導力を発揮する。
②組織の中で、自分や上司部下の持ち味を活かし、伸ばしつつ、貢献する。
③自分が当然と思っている前提を見直し、思考を柔軟にする。

■ 講師

本間　直人　氏　　（一般社団法人日本経営協会　専任講師）

■ 日時･会場

平成２５年５月　９日（木）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

管理・監督職　／　30 名

■ カリキュラム

9：30	●開講・オリエンテーション
	1．　オリエンテーション
	2．　コーチングとは
	3．　コミュニケーションの見直し
	4．　言語コミュニケーションの見直し
	5．　コーチングの場作り
	6．　やる気グラフ
	7．　傾聴のスキル　質問のスキル
	8．　喜びある未来のために
	9．　認知、承認のポイント
	10．　怒ると叱る
	11．　コーチング・ロールプレイ
	12．　学習する組織づくり
	13．　まとめ
16：30	●閉講・アンケート記入

行政法入門研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

業務の根幹となる行政の諸法律に共通する原理や仕組み等、具体的な事例を交えながら行政法の基礎を学びます。

ココが
ポイント！

自治体職員の実務に必要とされるポイントを絞って学びます。自治体職員目線の研修内容が特徴です。

■ 講師

宇那木　正寛　氏　　（岡山大学大学院社会文化科学研究科非常勤講師・元岡山市職員）

■ 日時･会場

平成２５年８月　２７日（火）～２８日（水）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

全職員　／　60 名

■ カリキュラム

9：30　●開講・オリエンテーション

【総論】

1　行政法って？
- ○行政法とはどのような法律か
- ○憲法との関連は。民法との違いは
- ○行政の基本ルール

2　日常に見られる行政の行為形式
- ○ケース１　行政行為とは
  ～固定資産税の課税を例に～
- ○ケース２　行政指導とは
  ～建築確認申請の受領拒否を例に～
- ○ケース３　行政による規範定立とは
  ～要綱の制定を例に～
- ○ケース４　行政の義務履行確保とは
  ～行政代執行を例に～

16：30

※2日間で学ぶカリキュラムです。

【各論】

1　法律と条例
法律と条例とはどのような関係にあるの？

2　行政訴訟
行政訴訟とはどのような訴訟なの？

3　住民訴訟
住民訴訟とはどのような訴訟なの？

4　国家賠償
国家賠償とは何？

●閉講・アンケート記入

【携行品】自治六法

簿記入門研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

公会計制度の概要と簿記の基礎知識を学び、グループ演習を通じて理解を深めます。

ココが
ポイント！

①新地方公会計制度のポイントを理解する。
②企業会計と官庁会計の違いを理解する。
③グループ演習で簿記の基本を体感する。

■ 講師

小室 将雄　氏　　（有限責任監査法人 トーマツ 大阪事務所 パブリックセクター
シニアマネジャー 公認会計士）

■ 日時･会場

平成２５年４月 １８日（木）～１９日（金）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

全職員　／　60 名

■ カリキュラム

9：30　●開講・オリエンテーション

1　新地方公会計制度（公会計簿記）の概要
　新地方公会計制度の意義・ポイント等の概要を理解する。
2　企業会計と官庁会計の違い
　企業会計と官庁会計の違いを理解する。
3　自治体財政健全化法の概要
　公会計簿記と関連する財政健全化法の概要を理解する。
4　グループ演習
　１～３の学習を踏まえ、事例に基づくグループ演習でさらに理解を深める。
5　まとめ

16：30　●閉講・アンケート記入

※2日間で学ぶカリキュラムです。

《推薦図書》
簿記が全くの初心者で、事前に学習しておきたい方には、『**まずはこの本から！はじめての人の簿記入門塾**』（かんき出版　1,260 円）をお勧めします。　（参考ＵＲＬ）↓↓
http://www.kankidirect.com/np/isbn/9784761262907

平成 25 年度　職能別研修

折衝・交渉力向上研修　カリキュラム

■ 研修のねらい

お互いが納得できる結果にするための交渉スキルを学び、説得力の向上を図ります。対外的（住民、取引先）な場面での活用はもちろん、対内的（上司・先輩・他部署）な交渉場面でも使えるスキルです。

ココが
ポイント！

①交渉のあらゆる場面の適切な対応法が身につく。
②現実の場面を想定したロールプレイにより、即戦力としての交渉力が体得できる。

■ 講師

熊田 鋼嗣　氏　　（話し方教育センター専任講師 ）

■ 日時・会場

平成２５年６月１８日（火）　9：30～16：30
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

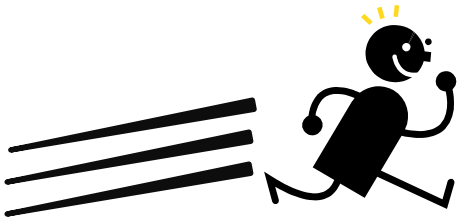
■ 対象・定員

一般職員　／　30 名

■ カリキュラム

9：30	●開講・オリエンテーション
	１．折衝・交渉の基本姿勢・要素
	＜演習１＞ グループディスカッション
	テーマ「折衝・交渉の成功談 失敗談」
	２．交渉成立に向かう表現技法
	３．折衝・交渉の技術
	＜演習２＞ 交渉実践ロールプレイング
	テーマ「折衝・交渉の実際」
	４．折衝・交渉の効果を守る工夫
	＜演習３＞ 研修の振り返り
	テーマ「研修で得たものを職場でどう活かすか」
	５．　折衝・交渉力をさらに強化するには
	●質疑応答
16：30	●閉講・アンケート記入

平成２５年度
れじょんセミナー



あなたは地域を変えるためにいつ行動しますか？

過疎高齢化により18年間で

人口が半減した限界集落

石川県羽咋市 神子原地区を

わずか**4年間**で立ち直らせた高野氏。

右肩下がりの日本社会、

低予算、人員不足など

地方自治体を取り巻く状況は

決して明るい見通しばかりではない。

このような時代だからこそ、

今、行動が求められているのです！

あなたは地域を変えるために

いつ行動しますか？

開催日

平成25年 **11**月 **20**日（水）

時　間

12:30　受付開始
13:15　開会
13:30　講演
15:30　閉会

会　場

岡山県市町村振興センター
5F　れじょんホール
岡山市北区今2-2-1

講師

羽咋市役所教育委員会
文化財室　室長
歴史民俗資料館　館長

高野（たかの）　誠鮮（じょうせん）　氏

プロフィール
1955(昭和30)年生まれ。石川県羽咋市生まれ。
科学ジャーナリスト、テレビの企画・構成作家として
「11PM」「プレステージ」などを手がけた後、
1984(昭和59)年に羽咋市役所臨時職員になり、
NASAやロシア宇宙局からの本物の帰還カプセル、
ロケットなどを買いつけて、宇宙科学博物館
「コスモアイル羽咋」を造り、話題となる。
その後、2005(平成17)年、過疎高齢化が問題と
なった神子原地区を、年間予算わずか60万円で
立て直すプロジェクトに着手。2011(平成23)年
より自然栽培米の実践にも着手。
現在は教育委員会文化財室長、歴史民俗資料館館長を
務める。
『ローマ法王に米を食べさせた男』(講談社)

首長・市町村議会議員・幹部職員および関心を持つすべての方が　対　象

お申し込み》インターネット受講システムまたはFAXでお申し込み下さい。
(https://secure01.red.shared-server.net/www.shinko-okayama.jp/jukou/user/)

締　切　日》**11月13日（水）**

お問い合わせ　》

公益財団法人岡山県市町村振興協会　研修センター　　担当：福元　紳之介
〒700-0975　岡山市北区今2-2-1　TEL：086-245-4882　FAX：086-245-4421　E-mail：kensyu@shinko-okayama.jp

メンタルヘルスセミナー

～メンタルヘルス不調のメカニズムからみた対処法～

■ 研修のねらい

管理･監督職に求められるメンタルヘルスの基礎知識として、メンタル不調者への対応と最近の傾向、事例などを学びます。また、健康的な職場環境を作る上で、自らのセルフケアについても理解を深めます。

ココが
ポイント！

① 公務職場の特性を踏まえたメンタル対応を考える。
② 管理職として知っておきたいメンタルヘルス対応のエッセンスを短時間で学ぶことができる。

■ 講師

谷原　弘之　氏　　（岡山 EAP カウンセリングルーム　マネージャー）

■ 日時･会場

平成２５年５月　１４日（火）　14：00～16：00
れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

管理・監督職　／　30 名

■ カリキュラム

14：00	●開講・オリエンテーション
	・メンタルヘルス不調へ移行するメカニズム
	・シミュレーション・ゲーム（管理・監督者として適切な 部下への対応）
	・今どきの若い職員の特性と対応の仕方
	・よくある事例の紹介
16：00	●閉講・アンケート記入

公共施設、ハコモノは時限爆弾？

■ 研修のねらい

高度成長期に建設された公共施設の多くが築30年を経過して、各部位の経年劣化の進行とともに、修繕や改修に必要な費用が膨大になり財政を圧迫してきています。また、震災や高速道路トンネル事故を契機として、既存施設の劣化に対する安全性への住民不安も高まってきています。

本セミナーではこうした公共施設の維持･管理･活用について、県内外の事例を交えながら基本を学びます。

■ 日時･会場

平成２５年７月１日（月）　13：30～16：30

れじょんホール　（岡山市北区今 2-2-1　岡山県市町村振興センター　5F）

■ 対象･定員

施設管理・総務・企画・財政・営繕担当者等、関心を持つ方すべてが対象です。　／　60 名

■ カリキュラム･講師

第１部

13：30	開会・オリエンテーション
13：40	**講演「公共施設マネジメントの全国的動向と課題解決の処方箋」**
	講師　倉敷市企画財政部財産活用課　井上　昇　氏
	（PRE／FM 研修会（国交省・東京大学主催）ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　地方自治体公民連携研究財団客員研究員）

ＦＭってなあに？／各自治体の取り組み状況／公共のＦＭ／倉敷市の取り組み／ＦＭにおける連携　等

第２部

岡山県内の取り組み事例の紹介

15：00	①「出石（いずし）小学校跡地活用について」	岡山市政策局事業政策課
15：30	②「新電力活用による電気料金の削減について」	津山市財政課
16：00	③「建物点検を生かした修繕の執行について」	倉敷市財産活用課長期修繕計画室
16：30	閉会	